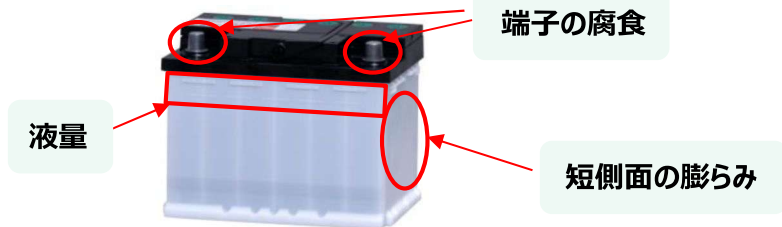


外観点検の確認事項とポイント

自動車用バッテリーの劣化サインは、エンジン始動性能や容量低下のような内部変化に加え、外観からも確認できます。今号はその確認事項とポイントについてご説明いたします。

●外観点検の確認事項

外観点検は主に右図の3項目を意識し、点検を心がけてください。



●外観点検のポイント

症状	原因	対処								
液減り	充電による電気分解によって、水分が失われ、液量が減少します。また、内部劣化が進むと充電に利用される電力が減り、電気分解が増えるため液減りが早くなります。	UPPER LEVEL LOWER LEVEL UPPER LEVELまで補水								
短側面の膨らみ	①使用経過に伴う正極板格子の腐食による膨張 ②液口栓の排気孔へのゴミ詰まり等による内圧上昇による膨張 ③電解液凍結による膨張	交換								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>比重(20℃)</th> <th>凍結温度(目安)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.28</td> <td>-70℃</td> </tr> <tr> <td>1.20</td> <td>-25℃</td> </tr> <tr> <td>1.10</td> <td>-10℃</td> </tr> </tbody> </table> 電解液は比重が低下すると、凍結しやすくなります	比重(20℃)	凍結温度(目安)	1.28	-70℃	1.20	-25℃	1.10	-10℃	
比重(20℃)	凍結温度(目安)									
1.28	-70℃									
1.20	-25℃									
1.10	-10℃									
端子の腐食	症状と原因	腐食画像								
	車両のターミナル(銅)と硫酸が反応→青緑色の物質(硫酸銅) 排気孔からのガス排出時に生じる微量な硫酸ミスト等がターミナル(銅)に付着し反応することで生成されます。		端子をサンドペーパーやワイヤーブラシでよく磨き、さび止めグリースを薄く塗布してください。 							
	バッテリー正極端子(鉛)と硫酸が反応→黒色の物質(酸化鉛) 経年劣化やガス排出時に生じる硫酸ミスト等がバッテリー端子(鉛)に付着し反応することで生成されます。									
バッテリー端子(鉛)と酸素・二酸化炭素が反応→白い物質(炭酸鉛) バッテリーに結露が発生するような環境下で、水と空気(酸素・二酸化炭素)がバッテリー端子(鉛)と反応することで生成されます。										

Point



- 使用経過によるバッテリーの劣化サインは、液減り・短側面の膨らみ・端子の腐食といった外観の変化から判断できる場合があります。
- 上記箇所の他にも、車両のターミナルとバッテリー端子の接続状態や、固定器具の締め付け状態も確認しておきましょう。

